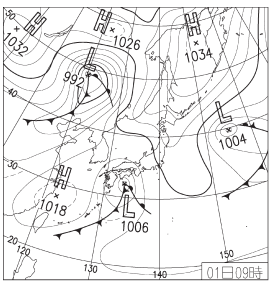
日々の天気図

No. 171

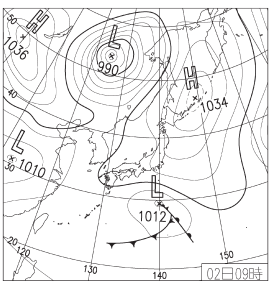
2016年4月

・8～10，13日，沖縄県内各地雷雨でがけ崩れや浸水，停電発生．
・「平成28年(2016年)熊本地震」で14，16日に震度7．被害甚大．1週間弱で最大震度5弱以上17回，余震多く28日に震度1以上1000回到達．
・16～18日，西～北日本各地で暴風．
・29～30日，北海道降雪30cmの所も．
(気象庁予報部予報課)



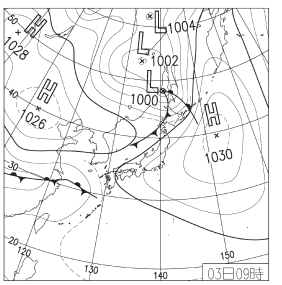
1日(金)西から天気崩れる

西日本と東日本南岸は低気圧に伴う雨．高知県室戸岬57.5 mm/1 h．仙台市サクラ開花は史上2位の早さ．満開は5都市で富山市は最早タイ．三重県南東沖の地震で和歌山県震度4．



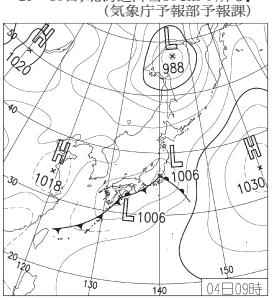
2日(土)太平洋側は花曇り

千島近海の高気圧が張り出し西～北日本の太平洋側は東風が吹き花曇り，日本海側は晴れて最高気温は5月並，平年差＋10℃以上も．広島市・京都市・横浜市など7都市でサクラ満開．



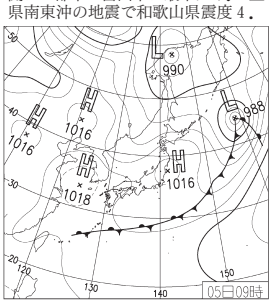
3日(日)福島市でサクラ満開

史上2位の早さで，長野市の開花も2位の早さ．松山市など4都市でも満開．九州に前線がのび日本付近は気圧の谷に．沖縄・奄美では概ね晴れたが，西～北日本は曇りや雨．



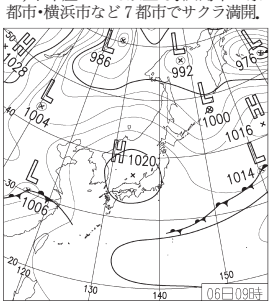
4日(月)金沢市でもサクラ満開

前線を伴った低気圧が西～東日本の南岸を通過し，北海道を除き雨．暖気が入った西～東日本は最低気温が平年より6℃以上高く5～6月並．最高気温も静岡県網代で25.2℃の夏日．



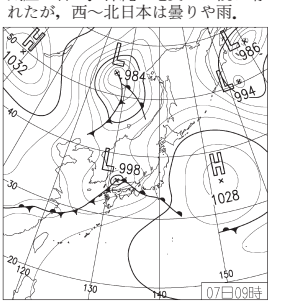
5日(火)関東は気温上がらず

高気圧が西日本や北日本に張り出し晴れた所多い．沖縄・奄美は前線で，北海道は午後に気圧の谷通過で雨も．関東も曇りや雨で最高気温2～3月並．宮崎市・静岡市などサクラ満開．



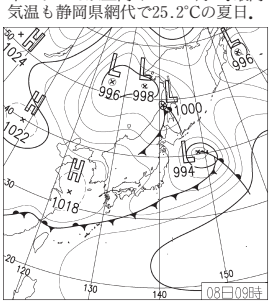
6日(水)天気下り坂

高気圧に覆われ北日本は晴れ．山形市サクラ開花は史上2位の早さ，仙台市満開も史上2位タイ．華中の低気圧から前線が東へのび，西～東日本は次第に曇り．西日本は夜には雨．



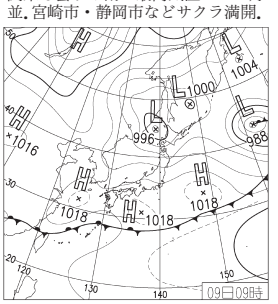
7日(木)日本海側を低気圧東進

沖縄を除き全国的に曇りや雨．西～東日本で雨風強く，和歌山県護摩壇山で日降水量183 mm，最大瞬間風速は熊本県阿蘇山43.9 m/s，福井県美浜35.4 m/s．新潟市でサクラ満開．



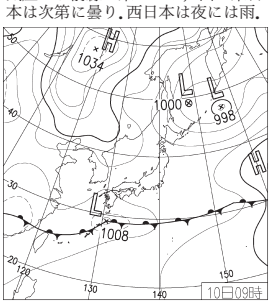
8日(金)北日本を気圧の谷通過

前線の影響で沖縄・奄美は雨．西～東日本は南岸中心に雲多め．北陸や北日本は寒気や気圧の谷の影響で雨．大分市・徳島市・長野市でサクラ満開．長野市は史上2位の早さ．



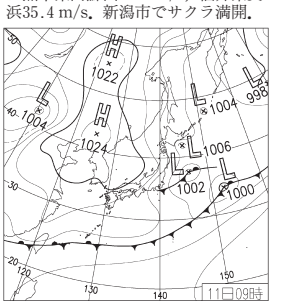
9日(土)今年初めて黄砂を観測

東日本～東北は高気圧に覆われて晴れ．盛岡，秋田，青森，室蘭で黄砂．沖縄・奄美は前線が停滞し雨で，沖縄県久米島では61 mm/1 h．北海道は低気圧通過で雨や雪．



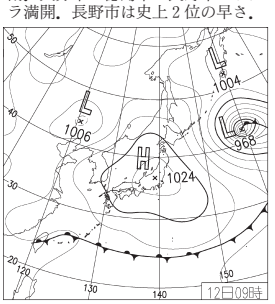
10日(日)日本の南に前線停滞

上空の雲に覆われ，北海道を除き日照少ない．沖縄や九州南部は雨が激しく，沖縄県胡屋で55 mm/1 h．東北以南の日本海側中心に各地で黄砂．山形市サクラ満開は史上2位の早さ．



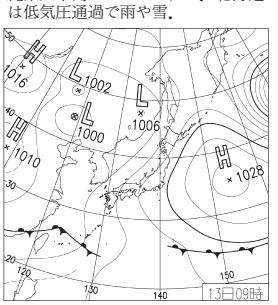
11日(月)北日本は雪

沖縄は前線による激しい雨．北陸～北日本は強い寒気により雪や雨．青森では3年ぶりの4月に積雪2 cm．盛岡市でサクラ開花．平年より10日早く，史上2位タイ．



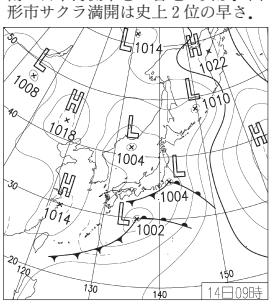
12日(火)移動性高気圧

西～北日本は高気圧に覆われ概ね晴れ．沖縄は前線停滞し雨．沖縄県仲筋49 mm/1 hは4月の1位．寒気残り，最低気温は2～3月並と冷え込んだ所多く，西～東日本でも冬日や霜．



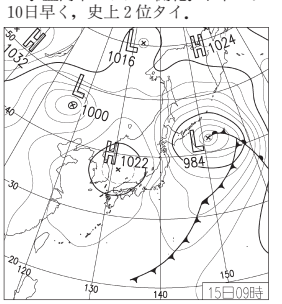
13日(水)沖縄・奄美で大雨

東シナ海の前線上に低気圧が発生し東進．西～東日本は次第に雨．北日本も気圧の谷の影響で雨．沖縄県宮古島で93.5 mm/1 hの猛烈な雨，日降水量238 mm．函館市でツバメ初見．



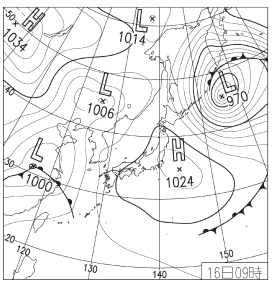
14日(木)熊本県益城町で震度7

九州は夜，M6.5の地震で激しい揺れ．日本付近は気圧の谷の中で暖気入る．東日本は午前，北日本は午後中心に雨．最低・最高気温とも5～6月並の所多数．西日本～東海では夏日も．



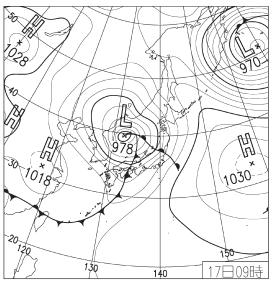
15日(金)熊本で強い余震続く

未明に震度6強．千島近海で低気圧発達した影響で北日本は雨や雪で局地的に暴風．北海道弟子屈で最大瞬間風速35.9 m/s．西・東日本は高気圧に覆われ概ね晴れ．西日本で黄砂．



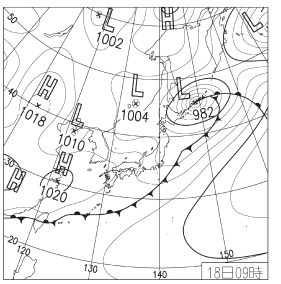
16日（土）未明にM7.3の本震発生

熊本県益城町と西原村で震度７．さらに阿蘇地方で６強を含む，最大震度５弱～６強の強い余震が続く．高気圧に覆われて広く晴れ，九州は低気圧接近により午後から雨．



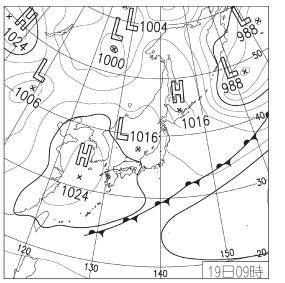
17日（日）全国的に春の嵐

発達した低気圧の影響で高知県安芸で60 mm/1 h の激しい雨．また，石川県輪島の最大瞬間風速35.7 m/s や三重県津の31℃（真夏日）など風や気温で４月の記録．青森市でサクラ開花．



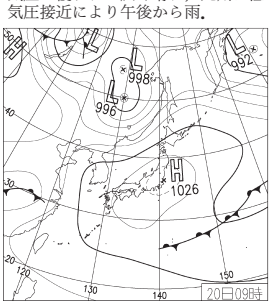
18日（月）北日本の暴風おさまる

発達した低気圧は北日本から千島近海へ離れる．北海道広尾で最大瞬間風速41.5 m/s．前線付近の沖縄・奄美や気圧の谷接近の西～東日本は曇りや雨．盛岡市でサクラ満開．



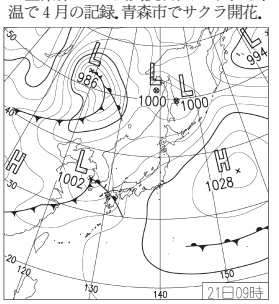
19日（火）秋田市でもサクラ満開

西～東日本は高気圧圏内で概ね晴れ．西日本は朝冷え込み，最低気温が３月並の所も．関東は夕方雷雨．北日本は上空の気圧の谷の影響で曇りや小雨．熊本県で前夜に続き震度５強．



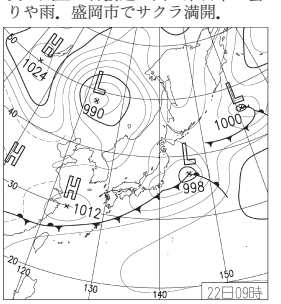
20日（水）晴れて気温差が大

移動性高気圧に広く覆われ，全国的に晴れて気温が上がり，西日本では最高気温が５月中下旬並に．最低気温は平年より低く，３月中下旬並で，その差が20℃を超えた所も．



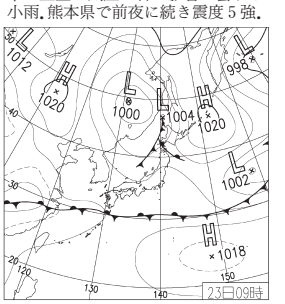
21日（木）九州を中心に強雨・強風

低気圧が対馬海峡から西日本へ東進．西～東日本で雨．九州を中心に雨風強く，鹿児島県牧之原で50.5 mm/1 h，長崎県雲仙岳で最大瞬間風速32.2 m/s．青森市でサクラ満開．



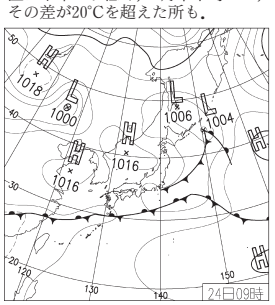
22日（金）晴れて気温上昇

低気圧が東日本から日本の東へ進み前線は南西諸島に停滞．沖縄・奄美や北陸・東北は曇りや雨．その他は東海・関東も天気回復，高気圧に覆われ気温上昇．最高気温が６月並も．



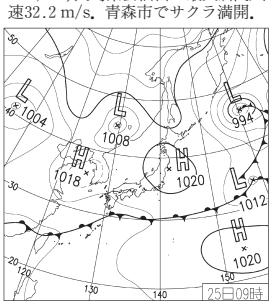
23日（土）九州で雨

九州の南に前線停滞．気圧の谷接近で九州は昼頃から雨．夜は東海・関東まで雨．低気圧通過で北日本も雨．与那国島の最高気温30.4℃は４月の１位．西日本日本海側～北陸で黄砂．



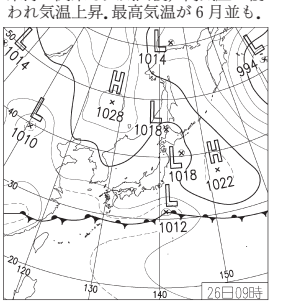
24日（日）函館市でサクラ開花

東シナ海から本州の南に前線が停滞．沖縄～九州は曇りや雨で激しい雨も．明け方に寒冷前線が通過した関東も午前中雨．北日本は高気圧に覆われ概ね晴れ．西日本～東北で黄砂．



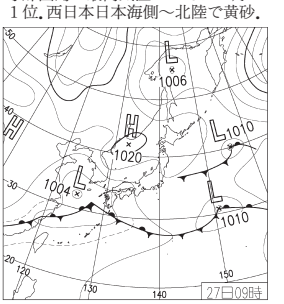
25日（月）札幌市でもサクラ開花

高気圧に覆われ九州を除いて晴れ，東日本中心に気温高い．前線に近い沖縄や九州南部で雨．西日本～北陸中心に黄砂．室蘭市のサクラ開花は平年より11日早く史上２位タイ．



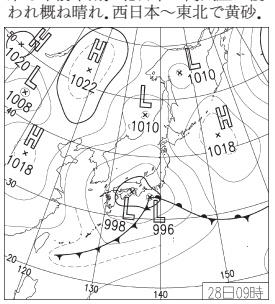
26日（火）南と北で雨

南西諸島に前線が停滞．沖縄～九州は前線の影響で，北海道は気圧の谷の影響で，曇りや雨．本州は晴れて内陸中心に気温上昇，最高気温が７月並の地点も．函館市でサクラ満開．



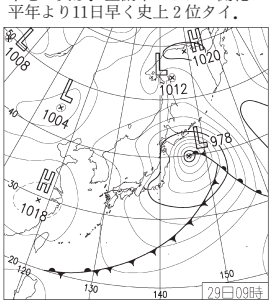
27日（水）雨域，西から東へ

九州付近を前線や低気圧が東進．沖縄～西日本の雨が東日本に広がる．北日本は高気圧に覆われ晴れ．沖縄県所野63 mm/1 h，鹿児島県中之島で日降水量155 mm は４月の１位．



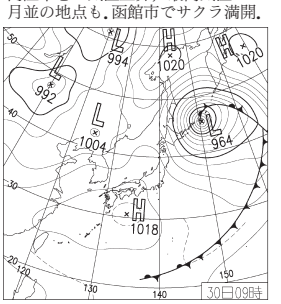
28日（木）雨域は東北まで広がる

前線を伴った低気圧が南岸を通過し，雨の主体は西～東日本や東北へ移動．北海道は晴れから次第に曇り，雨や雪．関東や東北太平洋側では気温上がらず３月並の最高気温の所も．



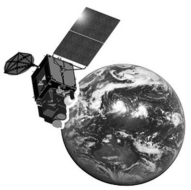
29日（金）北海道中心に降雪

日本の東で低気圧が発達し上空には強い寒気．北海道えりも岬で最大瞬間風速33 m/s．西～東日本は概ね晴れたが最高気温は日本海側中心に３月並の所も．大分県で震度５強．



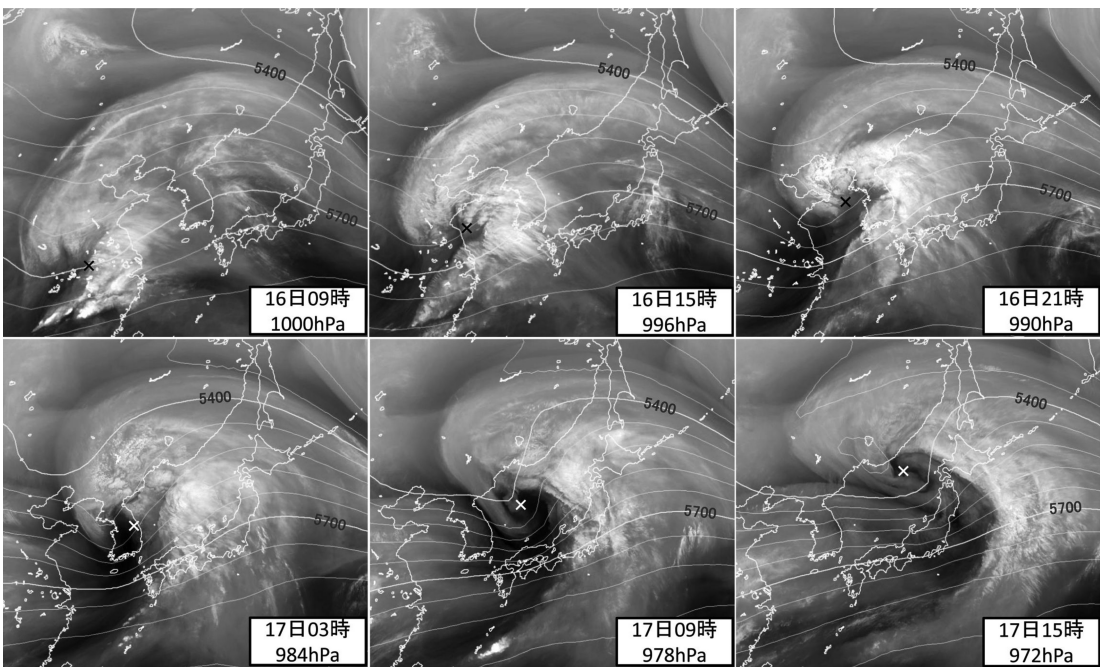
30日（土）北海道で荒れた天気

朝９時，札幌上空約1500 m には平年より9.1℃低い－7.4℃の寒気が流入．北海道で曇りや雨，オホーツク海側などで雪．その他は高気圧に覆われ晴れ．帯広市でエゾヤマザクラ開花．



今月のひまわり画像—2016年４月

記録的な強風をもたらした低気圧



第１図　2016年４月16日09時～17日15時（日本時間）の６時間毎の日本付近における水蒸気画像と気象庁全球モデル（初期値は同時刻）による500 hPa 等高度線（60 m 毎）．×印は地上低気圧中心，日時の下の数値は低気圧の中心気圧．各図の縮尺は同じ．

2016年４月16日～18日，黄海から日本海を低気圧が急速に発達しながら北東進した．17日昼前，石川県輪島では最大瞬間風速35.7 m/s の南西風を観測するなど九州から北海道の広い範囲で年間の極値や４月の極値を更新する記録的な暴風となった．この風の影響で，転倒による死傷者やビルの工事現場における足場の倒壊などが発生し，交通機関にも大きな影響が出た．

第１図は16日09時～17日15時（日本時間）の６時間毎の日本付近における水蒸気画像で，気象庁全球モデルの500 hPa 等高度線を重ね合わせている．16日09時は5700 m 前後のトラフ前面に地上低気圧（中心：図中の記号×）があり，その南東象限には赤外画像（図略）で暖湿流に伴う発達した雲域が見られた．同日15時になると，バルジ（上層トラフ前面の高気圧性曲率の流れに対応した上層雲）が明瞭になってきて，低気圧が発達中であることを示唆している．同日21時～17日03時の期間はトラフ（5520～5580 m に対応）が深まり，暗域（水蒸気画像の輝度温度高温域）が低気圧中心に向かって進入しているのがわかる．17日09時になると，5400 m の等高度線が低気圧中心付近まで南下し，低気圧中心はトラフのほぼ直下になった（同時刻，本低気圧は閉塞している）．同日15時には低気圧中心が切離された上層低気圧のほぼ直下に入り，本低気圧は発達のピークを迎えた．

なお，16日21時～17日09時に見られた等高度線5400 m の急激な南下は，1.5～2.0 PVU の等渦位面高度（図略）の推移から，圏界面高度の降下に伴うもので，17日09時には低気圧中心付近の圏界面高度は500 hPa 面近くまで下がっていた．

（気象庁予報部予報課　原　　基）